

令和8年度 姫路市予算のポイント

1 予算の特徴

- ・全会計を合わせた予算規模、一般会計の予算規模は、ともに過去最大
- ・一般会計における経常的経費は、前年度比 69 億円増の 2,145 億円で過去最大
- ・うち義務的経費は前年度比 38 億円増の 1,345 億円で過去最大
- ・投資的経費は、学校体育館の空調整備等の減により、前年度比 33 億円減の 473 億円（令和 7 年度 2 月補正予算等を加えると 531 億円）
- ・収支不足は 35 億円で前年度より 10 億円の減

2 重点取組

- ① 少子化対策・子ども支援
RS ウイルスワクチン予防接種の推進、5歳児健診のモデル実施、姫カツの推進
- ② デジタル化
フロントヤード改革（「書かない窓口」受付体制の充実、「待たない窓口」予約サービスの活用）
- ③ グローバル化
国際戦略の策定、グローバル人材の育成、海外企業誘致
- ④ 魅力あるまちづくり
ひめじスーパーアリーナ・（仮称）観光交流センターの開業、自治会 DX 推進

3 予算規模

全会計合計

4,370 億円 (+73 億円、+1.7%) ……過去最大(2 番目=⑦4,297 億円)

◆一般会計

2,618 億円 (+36 億円、+1.4%) ……過去最大(2 番目=⑦2,582 億円)

◆特別会計(7 会計)

1,149 億円 (+21 億円、+1.9%)

◆企業会計(2 会計)

603 億円 (+16 億円、+2.6%)

4 一般会計の概要

【歳入】

市税

1,063 億円(+22 億円、+2.1%) 給与所得等の増加による個人市民税の増

地方消費税交付金

144 億円(+14 億円、+10.8%) 物価高に伴う個人消費額の増

国庫支出金

515 億円(+21 億円、+4.2%) 自治体システム標準化の進捗及び障害者福祉給付の増

県支出金

186 億円(+22 億円、+13.3%) 小学校給食無償化による増

市債

241 億円(△87 億円、△26.5%) 学校体育館空調整備及び消防指令システム更新の減

【歳出】

経常的経費 2,145 億円 (+69 億円、+3.4%)、81.9% (+1.5 ポイント)

うち義務的経費 1,345 億円 (+38 億円、+2.9%)、51.4% (+0.8 ポイント)

　　人件費 423 億円 (+16 億円、+3.9%)

　　扶助費 705 億円 (+14 億円、+2.0%)

　　公債費 217 億円 (+8 億円、+3.9%)

投資的経費 473 億円 (△33 億円、△6.7%)、18.1% (△1.5 ポイント)

　　補助事業費 248 億円 (+65 億円、+35.1%)

　　単独事業費 225 億円 (△98 億円、△30.3%)

令和 7 年度 2 月補正予算等と合わせると 531 億円 (△17 億円、△3.2%)

※国の経済対策に対応し、学校、公園、道路整備等の投資事業について、令和 7 年度 2 月補正予算と一緒に編成するとともに、公共工事平準化のため債務負担行為を活用 58 億円

5 特別会計、企業会計の概要

卸売市場事業 10 億円 (△11 億円、△53.1%)

国民健康保険事業 504 億円 (+1 億円、+0.2%)

介護保険事業 519 億円 (+25 億円、+5.1%)

後期高齢者医療事業 111 億円 (+9 億円、+9.5%)

水道事業 215 億円 (+25 億円、+13.2%)

下水道事業 388 億円 (△9 億円、△2.4%)

6 基金、市債残高(令和 8 年度末見込)

基金 645 億円 (△110 億円、△14.5%)

　　財政調整基金 113 億円 (△34 億円、△22.9%)

　　21 世紀都市創造基金 72 億円 (△70 億円、△49.6%)

　　減債基金 54 億円 (+9 億円、+19.6%)

市債 3,016 億円 (+24 億円、+0.8%)

　　一般会計 1,891 億円 (+39 億円、+2.1%)

　　臨時財政対策債 640 億円 (△73 億円、△10.3%)

　　特別会計 124 億円 (△5 億円、△4.0%)

　　企業会計 1,001 億円 (△10 億円、△1.0%)

7 行財政改革への取組

既存事業の見直し、使用料等の見直しにより財源を確保

既存事業の見直し 歳出影響額 3.9 億円 (133 事業)

使用料等の見直し 歳入影響額 1.8 億円 (6 科目)